

授業づくりのQ&A ー小学校保健ー

TTでの授業を想定しています。

Q1: 養護教諭が学級活動等の授業に参画する上で、気を付けることはありますか？



A: 授業に参画するに当たっては、家庭環境、日常の児童の様子や実態等をよく把握している学級担任と連携して学習指導案の作成に携わり、個別の支援をすることが大切です。そして、授業の位置付けやねらい、目的等について、事前に理解しておくことが必要です。

Q2: 養護教諭が授業に参画するとき、学級担任とどのように役割分担をするとよいですか？



A: 役割分担は、授業の目的等によって変わってきます。必ず、学級担任と綿密な打合せを行いましょう。基本的には、専門的な説明の部分を担当することが多いと考えられます。それ以外では、児童のつまづきや気づきを発見しやすいというTTの利点を生かし、児童への個別の支援をすること等が考えられます。

Q3: 事前アンケートの作成で気を付けることはありますか？



A: 授業で取り扱う内容の課題や児童の実態が明らかになるように、アンケート項目の精選をしましょう。また、児童が答えやすい形式で作成しましょう。1人1台端末を活用することも考えられます。

[🏠「事前アンケート」へ](#)

Q4: 事前アンケートの提示の際に、気を付けることはありますか？



A: グラフの中の数値や項目、凡例を隠して、考えることができるようにすること等も効果的です。児童が課題について気付くことができるように、説明をし過ぎないように気を付けましょう。

Q5: 養護教諭からの専門性を生かした説明や資料提示で気を付けることはありますか？



A: ・専門性を生かした説明をする際は、簡潔に話すことを心掛けましょう。説明の時間が長くなると、児童が活動する時間が短くなります。伝えたい内容を精選し、児童が主体的に活動する時間を確保します。
 ・専門性を生かした説明の際はイラスト等も使用し、児童が視覚的にも理解しやすいように工夫をしましょう。
 ・プレゼンテーションソフト等で提示資料を作成すると、今後同じような授業に参画する際に活用することができます。ただし、今後の学習活動に生かすことができるように、黒板に授業の内容を残すことは大切です。必要に応じて、提示資料等のカラー印刷をして黒板に掲示する等の工夫をしましょう。

Q6: 授業後は、どのような取組を行うとよいですか？



A: ・児童が実践を確実に行うことができるように、実践を記録するワークシートを準備すると、授業後も児童の取組状況を把握することができます。また、その記録を基に助言をすることができます。
 ・授業後は児童がどのように変容したか、学級担任や児童とのやり取りを通して把握し、今後の児童への保健指導や保健室経営に生かしましょう。
 ・保健便りや掲示物で児童の実践を紹介するなどして、児童の努力や工夫を承認できる機会を作りましょう。

[🏠「授業実践のまとめ」へ](#)